

法商 ネット情報

3学部長が再任

任期満了に伴う法学部、商学部、ネットワー...

高校が掲げるスクールポ...



城郷高と高大連携協定

専修大学は、神奈川県立...

高校生を対象とした司...

高校生が図書館業務体験



職員の案内で図書館を見学する高校生

高校生を対象とした司...

愛媛県とUターン就職促進協定

本学は7月31日、愛媛...

就職日より

4年次生へ夏期休暇...

23年度「千代田学」 土屋教授らの研究が 事業提案制度に採択

千代田区と区内の大学...

東京国立博物館で今夏...

井上教授は「古代メキ...

第2部では、テオティ...

国際コミュニケーション...

7月21日、小林貴徳...

異文化コミュニケーション学科公開講座 古代メキシコ文明を解説

井上教授は「古代メキ...

第2部では、テオティ...

国際コミュニケーション...

7月21日、小林貴徳...

キャンベラとウーロンゴンで学んだこと

新型コロナ禍の前のことですが、キャンベラにあるオーストラリア国立大学(ANU)で7カ月、シドニー郊外に位置するウーロンゴン大学(UOW)で5カ月、在外研究をしていました。ウーロンゴンでは私一人でオーストラリア人夫婦のところにホームステイをしていました。当時45歳であったおじさんを、快く(?)引き受けていただいたホストファミリーとはいまでも交流があります。ホームステイをすると当地の文化という生活様式を体感できますが、私の専門との関係で特に勉強になったのが介護です。ホストファミリーは病気のため介護を必要としていたのですが、朝起きてから寝るまでの当地の介護を見ていると、日本の介護の仕組みには何か欠けているものがあるような気がしました。キャンベラでは家族で滞在していたことも

あり、子育てのことで学ぶことが多くありました。キャンベラでのさまざまな場面での子育て支援を見ていると、日本の「こどもまんなかアクション」には何か足りないような気がします。キャンベラでは、ボランティアで英語を教えてくださいくださる方がいて、シェイクスピアを使って英語の勉強をしました(シェイクスピアばかり読んでいたわけではなく、ANUで私の専門である行政法の研究をしていました。念のため)。これはいまでも続いていて、メールとZoomで授業を受けています。海外で生活するのは勇気がいりますし大変ですが、それ以上に得ることがたくさんあります。皆さんも留学してみませんか。(学生部委員・山田健吾)



緑地帯

キャンベラでは家族で滞在していたことも

(学生部委員・山田健吾)